

## 「(入門会計学第 1-3 刷)」の記述更新・誤記訂正につきまして

下記の箇所に記述の更新・誤記に伴う訂正がございました。

ご迷惑をお掛けし申し訳ありませんが、ご訂正くださいますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	更新前の記述	更新後の記述
25	トピック 4 図下	図下、出所記載の下にトピック本文を追加。	<p>(以下の文章を追加)</p> <p>なお、日本では、現時点において未だ上記の最終決定はなされていない状況にあります。ただし、日本国内において IFRS を早期適用（任意適用）している会社をみることはできます。たとえば、東京証券取引所では、以下のような「IFRS 早期適用・早期適用予定会社一覧」が開示されています。</p> <p>IFRS を早期適用している会社一覧（平成 25 年 2 月現在）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■IFRS を適用している会社 日本電波工業・HOYA ・住友商事・日本板硝子・日本たばこ産業 ・ディー・エヌ・エー ・アンリツ ・SBIホールディングス</p> <p>■IFRS を早期適用することを予定している会社 中外製薬・マネックスグループ ・旭硝子・ソフトバンク・丸紅</p> </div> <p>出所「東京証券取引所「IFRS 早期適用・早期適用予定会社一覧」より修正・引用 【<a href="http://www.tse.or.jp/rules/ifrs/info.html">http://www.tse.or.jp/rules/ifrs/info.html</a>】</p>
52	側注 ステップアップ 2	連結財務諸表の注記として有価証券報告書に開示される情報に、 <b>セグメント情報</b> というものがああります。	財務諸表の注記として開示される情報に、事業セグメントに区分された情報である <b>セグメント情報</b> があります。セグメント情報は、 <b>マネジメント・アプローチ</b> によって開示されます。マネジメント・アプローチでは、経営者の意思決定や業

		セグメント情報とは、企業グループの活動を、事業の種類別、所在地別などの観点から区分して、売上高、営業損益、資産などの金額について示したものです。	績評価に使われている情報にもとづき、情報が開示されます。
80	側注 ステップアップ1	このような付随費用も、取得原価に含まれます。	(説明文追加) このような付随費用も、取得原価に含まれます。 なお、有形固定資産を除去するときに発生する資産除去費用を取得原価に含めることもあります。この場合、その資産除去費用の同額が資産除去債務(負債)となります。
95	図表 15_1	(損益計算書)  収益(損失)	(損益計算書)  利益(損失)
116	側注 ステップアップ4	<b>包括利益</b> とは、純利益に <b>評価・換算差額等</b> の「その他包括利益」を加えたものをいいます。	(説明文追加) <b>包括利益</b> とは、純利益に <b>評価・換算差額等</b> の「その他包括利益」を加えたものをいいます。 なお日本では、連結損益計算書において包括利益が導入されることになっています。